

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学習場面、日常生活		
タイトル	マスクや手作りフェイスシールドで安全に過ごそう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	眼鏡をかけていたり、こだわりが強かったりして、マスクをすぐに外してしまう。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	人が集まるところでマスクをつけたり、フェイスシールドをつけたりにして、安全に過ごそうとする。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	身近にある材料でフェイスシールドを作り、体験する。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。



- ・はじめに「新型コロナウイルス」の恐ろしさをイラストに描いて説明し、マスク・フェイスシールドなどで飛沫感染を防ぐことの良さを知らせ、作る意欲を高める。
- ・四つ切り画用紙(横長に1/4)、輪ゴム2本、消毒用ティッシュ、B4ラミネート(マシーンを通す)、ホチキス、セロテープ、カラーペンを用意する。画用紙を1/3に折り畳み、帯状にして頭のサイズに合わせ輪ゴムを挟んでホチキスで止め(針が外を向くように)、セロテープで保護する。ラミネートを挟み込み出来上がり。
- ・帯のところに名前、イラストなどをかいたり、ラミネートを丸く切ったりして、自分だけのオリジナルフェイスシールドにする。
- ・使った後は、消毒をして繰り返し使うことを伝える。

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学習場面、日常生活		
タイトル	透明(プラスチック製)マスクで表情を明らかに		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	知的学級で支援に関わる際に、不織布や布マスク(以下マスク)をつけた教師の表情がわかりづらく、コミュニケーションがとりにくい場面が見られた。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	マスクの代わりに透明マスクをつけることで、教師の表情がわかり、安心して授業が受けられる。また、聞き取りにくい状況が軽減されるとともに、口の動きを見て指示を推測するのに役立っている。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	透明マスクとフェイスシールドを使うことで、唾液等の飛沫が少なくなる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

透明マスクの在庫が不足しており、まだ全クラスでの実施はできていないが、教師の表情がわかることは、特別支援学級だけでなく通常学級を含む全児童の安心にもつながる。

また、気温が高くなるにつれて、マスク着用による教職員の熱中症が心配されるが、透明マスクにより呼吸がしやすくなるとともに、マスクによる熱の蓄積を避けることができるようになった。状況を見ながら少しずつ透明マスクの使用をすすめていきたい。

